

保護者の皆様

広島市立美鈴が丘小学校
校長 平岡 康生

学校評価アンケート等の結果について

春寒の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より本校教育にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、先月、ご協力いただきました「学校評価アンケートの集計結果(保護者)」を下記のとおりお知らせします。また、「児童のアンケートの集計結果」、「学校評価アンケートの集計結果(学校協力者会議委員)」、「学校経営計画に対する成果と課題」も併せてお知らせします。

つきましては、これらのアンケート等を参考にしまして、来年度の取り組みに活かしていく所存です。

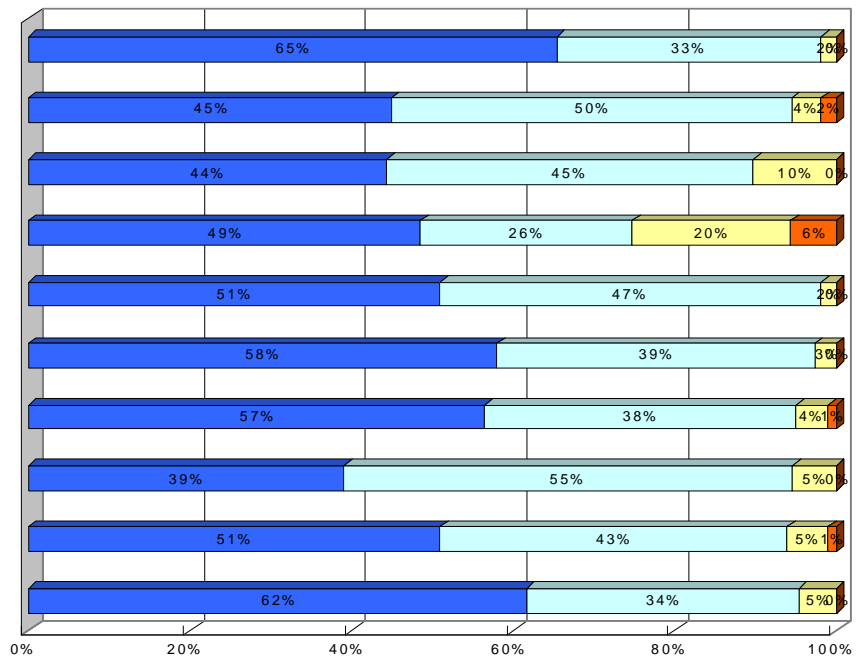
なお、「学校評価アンケート」の回収率は約97%でした。保護者の皆様のご協力、誠にありがとうございました。

記

学校評価アンケート 集計結果 (保護者)

本校の教育などについて

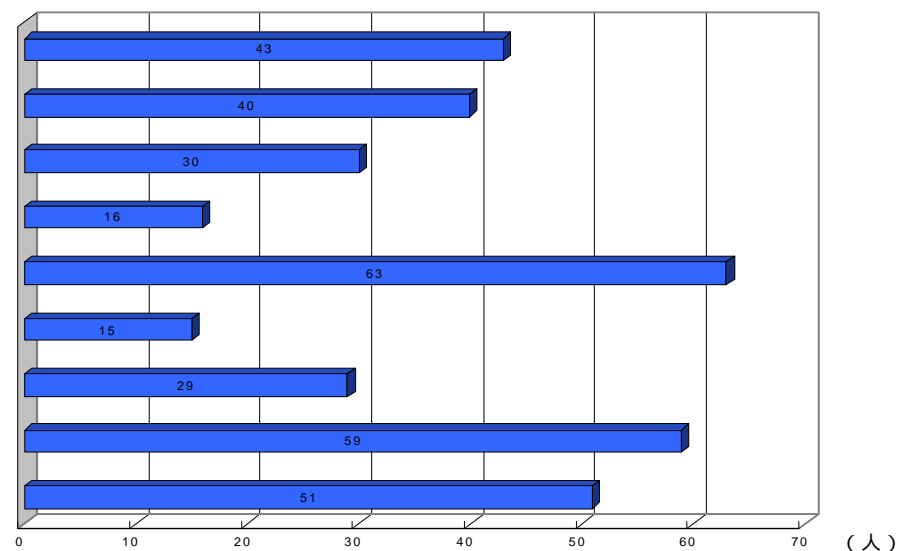
- お子さんは、学校へ行くことを楽しみにしている。
- お子さんは、計算・漢字や音読の力がついている。
- お子さんは、話したり聞いたりする力がついている。
- お子さんは、読書が好きになっている。
- お子さんは、互いのよさを認め合う気持ちや思いやりの心が育っている。
- お子さんは、体験活動・交流活動や集団行動に、生き生きと参加している。
- 本校の子どもたちは、友だち同士のつながりができている。
- 学校は、掲示物の工夫など学習しやすい環境になっている。
- 学校は、地域や家庭とのつながりを大切にした教育活動を進めている。
- 学校は、学校・学年だよりなどで、情報公開に努めている。



■ よくあてはまる
 ■ ややあてはまる
 ■ あまりあてはまらない
 ■ まったくあてはまらない

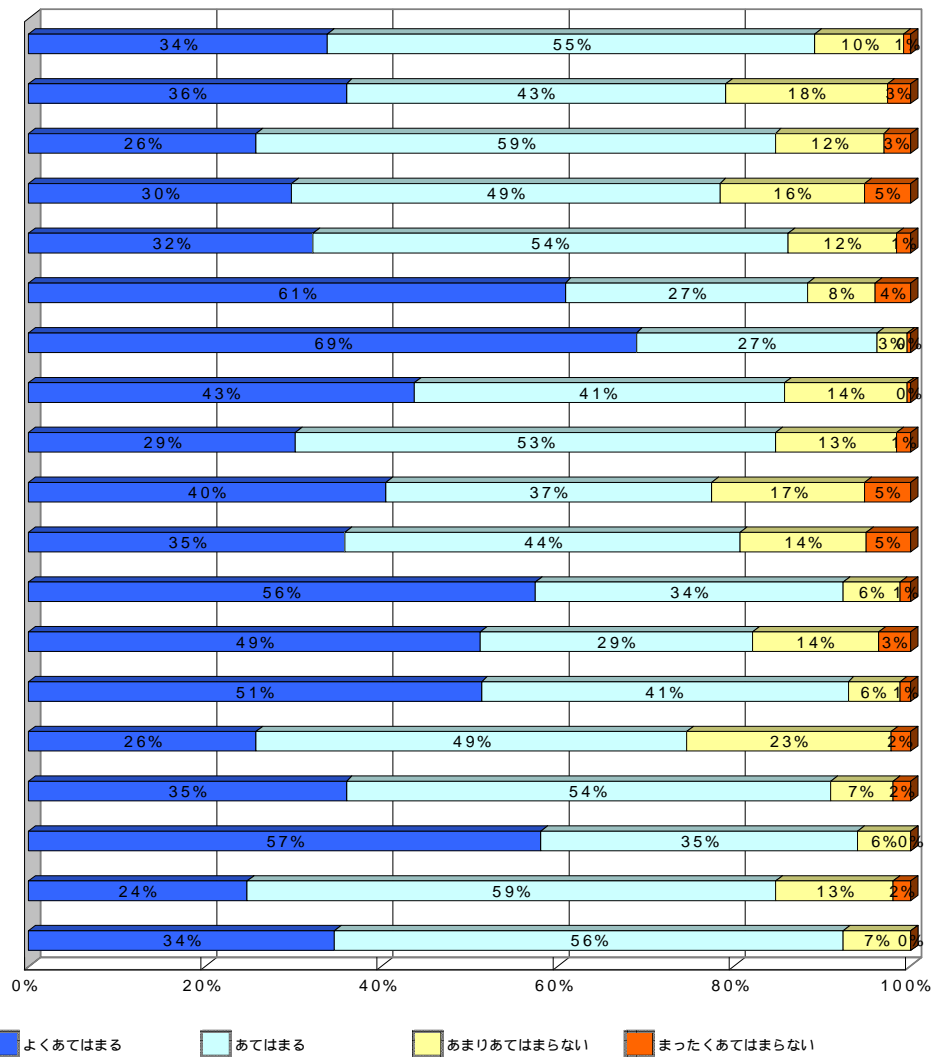
本校の教育について特に望まれること(3項目以内選択)

- 学力をしっかりつけてほしい。
- よく考えて行動する子どもに育ててほしい。
- よくあいさつのできる子どもに育ててほしい。
- よく決まりを守る子どもに育ててほしい。
- 思いやりのある優しい子どもに育ててほしい。
- 自分の体を大切にする子どもに育ててほしい。
- 外で遊んだり、運動したりする子どもに育ててほしい。
- ねばり強くがんばる子どもに育ててほしい。
- 様々な活動にチャレンジする子どもに育ててほしい。



児童のアンケート 集計結果

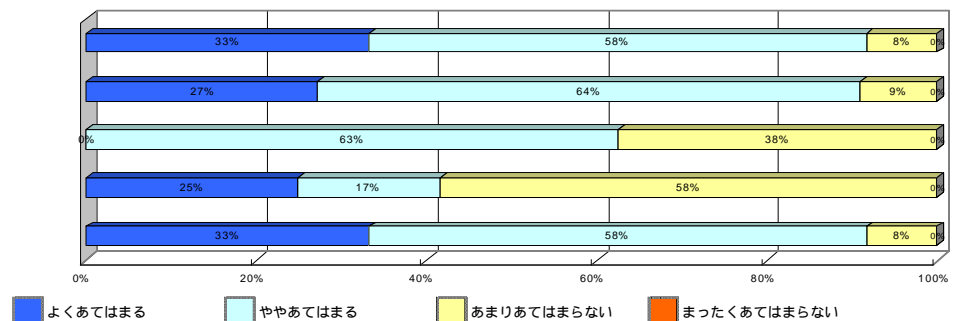
- 漢字や計算をくり返し学習して、できるようになったと思いますか。
- 音読がじょうずになったと思いますか。
- 自分の気持ちや伝えたいことを、作文にすることができますか。
- 友だちや先生の話最後まで聞くことができますか。
- 友だちや先生によくわかるように話をしようとしていますか。
- 本を読むのは楽しいですか。
- 図書室の利用のしかたがよくわかりますか。
- 学校をきれいにするために、そうじ時間に一生懸命そうじをしていますか。
- 障害について考え、理解を深めることができましたか。
- 平和や戦争について考えたり、調べたりしましたか。
- 規則正しい生活をしていますか。
- 体育の授業でがんばったり、休憩時間や放課後に運動したりすることで、体力がよくなりましたか。
- 休憩時間に外に出て遊びますか。
- 地域や外国の人など、学校の先生以外の人に来て教えてもらってよかったと思いますか。
- 学校生活で、自分が活躍できたことがありましたか。
- 学習するとき、むずかしいことがあっても、最後まで努力していますか。
- 友だち・先生・知っている人にあいさつをしていますか。
- 相手のことを考えて発言したり行動したりしていますか。
- 学校のきまりを守っていますか。



学校評価アンケート 集計結果 (学校協力者会議委員用)

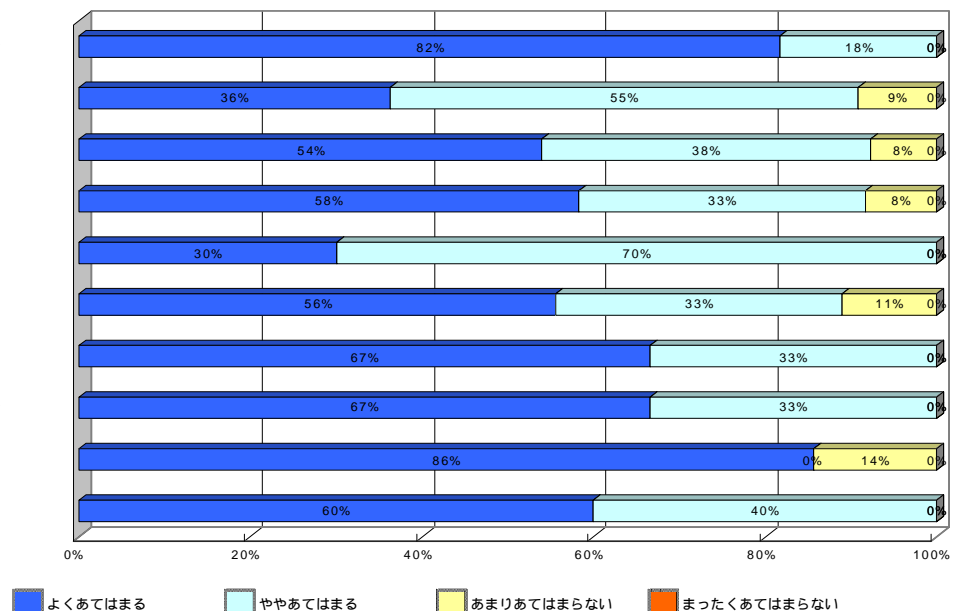
地域での子どもたちの様子

- 子どもたちは、よくあいさつをしている。
- 子どもたちは、よくきまりを守っている。
- 子どもたちの思いやりのある優しい姿を見かける。
- 子どもたちが、屋外で元気よく遊んでいる姿を見かける。
- 子どもたちが、地域の行事に参加する姿を見かける。



本校の教育について

- 学校は、教育方針・学校の教育活動や子どもたちの様子を、学校・学年・学級だよりなどで、積極的に伝えようとしている。
- 学校は、学力をしっかりつけようとしている。
- 学校は、あいさつのできる子どもを育てようとしている。
- 学校は、思いやりのある優しい子どもに育てようとしている。
- 学校は、基本的な生活習慣を身に付けさせようとしている。
- 学校は、よく考えて行動する子どもを育てようとしている。
- 学校は、地域と力を合わせて教育活動を進めようとしている。
- 学校は、ごみが落ちていない、物が整理整頓されている、掲示物が貼りかわるなどの環境整備に努めている。
- 学校では、落ち着いた雰囲気での授業が行われている。
- 学校では、子どものよさを伸ばそうとしている。



ご提言等

学校の実態については、地域行事を通してのみ理解している。
 地域での集団行事の場合、非常に素直な子どもたちだと思う。
 リーダーがしっかりしている場合、特に好感が持てる。

学校経営計画に対する成果と課題

【学校教育目標】

人間性豊かな実践力のある子どもの育成

【研究主題】

互いにかかわり合うことを通して、自らを高め合う子どもの育成
 ~みんながいるから、わたしがのびるし、あなたがのびる みんなちがうから、わたしがわかるし、あなたがわかる~

【目指す学校像（ビジョン）】

○学校像：知性を高め、感性を磨き、自主性を身につけて、たくましく生きる子どもを育成する教育（学校）を目指す。[楽しい学校をつくる。]

- 子ども像：
- (1) 深く考える子 「聞く・見る」主人公
 - 「話す・書く」主人公
 - 「考える」主人公
 - (2) 豊かな心を持つ子 「友だちの苦しみや優しさがわかる」主人公
 - (3) がんばりぬく子 「困難に全力で立ち向かい、やり抜く」主人公

○教職員像：学校に勤務する教職員としての自覚と各職種の専門性を高める。

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	成果と課題
学力の向上	互いがかかわり合いながら、ひとりひとりの自尊感情を高め、学力の向上を図る。（自尊感情を高める授業づくりをすすめる。）	楽しく意欲的に全員参加する授業を目指す。（学習規律に裏打ちされた授業づくりをすすめる。）	ひとりひとりの子どもの実態把握をていねいに行う。 「聞く・話す」を中軸にした学習規律をふまえ、子どもの実態とねらいに即した学習指導（発問、評価）の工夫につとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究を中心とした研修の充実に努めた。 ・全体研修を年間4回実施した。 ・教職員全員年間1回以上授業公開した。 ・学年内で、授業公開や教材研究するなど日々実践交流している。 ・ひろしま型カリキュラム全面実施し、英語科や言語数理通用科の指導法の工夫改善を図った。 ・新学習指導要領の全面実施に向け、年間指導計画、各教科等の全体計画等を作成している。 ・「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率は、国語科、算数科の平均通過率の合計で7%向上した。 ・全国学力・学習状況調査の平均正答率は、全国、広島県、広島市の平均正答率を上回った。全国の平均正答率と比較すると国語Aが3.3、国語Bが3.7、算数Aで3.4、算数Bで2.6ポイント上回っていた。 ・基礎的・基本的な学力は、概ね定着している。 ・思考力、判断力、表現力を向上させるために、授業研究を中心にして、今後も継続して取り組む。
		かかわり合い、高め合い（学び合い）のある授業をめざす。	かかわり合い、高め合い（学び合い）ができる方法を研究・工夫する。 学年（ブロック）での研究を深め、年一回は全員が授業を公開し、実践力を高める。	
		日常的な基礎学力の定着を図るとともに、主体的に学習課題に取り組む子どもを育てる。	読む（読書）・書く（漢字、日記、作文等）・計算の定着を図る工夫をする。 個々の学習課題に応じた指導方法の工夫をする。	
		基本的な生活習慣の確立を図る。	基本的な生活リズムの確立を図る。	
健康な生活づくりと生命尊重の態度づくりをすすめる。	心と体に関心をもつことができるようにする。	教科や遊びなどを通じて、運動機能を高め、体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりの発行や学級指導等、基本的な生活習慣の確立のための取組を行った。 ・体育の授業改善、外遊びの奨励、なわとび集会及びドッジボール大会の開催等を行った。 ・給食センターの栄養士による食育を、第1・3・5学年で実施した。 ・歯科医による歯の健康指導を第2学年、薬剤師による喫煙防止教育を第4学年、薬剤師による薬物乱用防止教育を第6学年で実施した。 ・今後も、食育、体育、保健指導の充実させるために、指導方法の工夫改善を図る。 	
		給食指導を通じて、バランスのとれた食生活の大切さに気づかせる。		
		保健指導・安全指導を充実させる。		
豊かな人間性の育成	道徳教育の充実、特別活動の充実、全教育活動を通しての人権教育の推進を図り、子どもたちに豊かな心と自治的な実践力（健全な自主性と豊かな社会性）を育てる。	道徳の授業の充実を図る。	年間指導計画に基づき、副読本や「こころのノート」を活用したり、子どもたちの生活を素材にした道徳の授業を行う。学年実態に応じて、ゲストティーチャーを招いたり、多様な体験活動等を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物を大切にしたり、人を大切にしたりする言動が増え、あいさつをとてよくするようになっていく。 ・今後も、学校生活全体を通して道徳教育を行う。 ・障害について理解するための学習を、児童の発達段階に応じて実施した。 ・特別支援教育に関する研修を、年間3回実施した。 ・今後も、児童一人一人のニーズに即した教育的な支援ができるようにするための研修の充実を図る。 ・視聴覚教材を活用した平和学習、戦争・被爆体験の聴き取り調査等によって学習したことを平和集会で学年ごとに発表した。また、それらを地域及び保護者に公開した。 ・平和コンサート及び平和のつどいで、海外からのゲストを招聘し、国際理解教育の一環とした。 ・今後も、継続して取り組む。
		特別支援教育の充実を図る。	障害をもっている人への差別や偏見を許さない子どもを育て、ともに伸びようとする集団を育む。学年実態に応じて、ゲストティーチャーを招いたり、車椅子体験、点字体験、手話体験など多様な体験活動等を取り入れる。 障害をもつ子どもが、地域のなかまとともに学び、ともに生きていく力を養う。なかよし学級の子どもたちと他学級との子どもたちとの交流を積極的にすすめる。地域内に居住する他学校（養護学校、盲学校）在籍児との交流をすすめる。	
		平和・国際理解教育の充実を図る。	戦争は最大の人権侵害であることに気づかせ、生命を大切にし、平和を守っていく実践的態度を育てる。全校で、平和集会を行ったり、学年実態に応じて、ゲストティーチャーを招いたり、多様な視聴覚教材を活用する。 国際理解教育をすすめる。世界の国々に目を向け、広い視野をもって連帯していこうとする姿勢と態度を育てる。学年実態に応じて、ゲストティーチャーを招く。	
		仲間づくりをすすめる。（自治的な力を育てる）	全教育活動の中で、子どもたちがかかわり合う場面づくりをすすめる。 全校・学年・学級の集会活動や学級会・朝の会・帰りの会などを積み重ねていく。児童会活動を充実させる。 子どもたちの生活の問題をみんなで考え、話し合いで解決する取り組みをすすめる。 友だちの良さを認め、高め合う気持ちを育てる取り組みをすすめる。	
「まちぐるみ」による教育の推進	安心・安全の環境のもと、共同の子育ての中で、子どもたちに豊かな心育てる。	地域の実態把握に努め、それにふまえた教育活動をすすめる。	地域の人材を教育活動に生かす。 子ども、保護者へ地域行事への参加を積極的に呼びかける。 学校協力者会議を充実させる。 学校、地域と協力して、さまざまな行事を積極的に行い、開かれた学校づくりをすすめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせのボランティア、花ボランティア、ハーブ園ボランティアの方々に多大なご協力をいただいた。 ・全学年において、地域の方々の授業への参画等で大いに大きな成果があった。内容としては、戦争・被爆体験の聴き取り調査、昔遊びの継承、町探検、鈴峯山の自然、タケノコ掘り、米作りなどがあげられる。 ・提言、評価を組み入れた学校協力者会議を年4回実施した。 ・学校協力者会議で出された本校の教育実践に対する提言や評価結果を活かすための工夫改善を行う。 ・今後も、継続して取り組む。
		各種の懇談会等の内容を充実させ、地域、保護者との連携をすすめる。	学級懇談会等を充実させる中で、保護者のリーダー性を引き出す。 PTC等の取り組みを充実させ、子ども、保護者、教職員とのつながりづくりを積極的にすすめる。	